


ウォシュレット アプリコット N1・N1A・N2・N2A N3・N3A・N4・N4A 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工情報

- 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
- N1A・2A・3A・4Aタイプの場合…必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。(施工のしやすさキズ防止のため)
- リモコンの  を押して便ふたを開いたとき、便ふたがロータンクふたや壁に当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。(N3・N3A・N4・N4Aのみ)

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

<p>警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p> <p>注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。</p>	<p>注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。</p>
<p>警告</p> <p>浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>交流100V以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>水道水及び飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</p> <p>電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)</p> <p>アース (D種接地工事100Ω以下) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</p>	<p>注意</p> <p>便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</p> <p>給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)</p> <p>止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)</p> <p>施工は施工説明書に従って確実に進行 (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</p> <p>給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)</p>

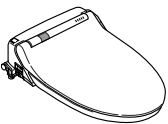
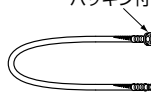

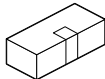
取り付け前のご注意

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
3. 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力はN1・N1A・N2・N2A・N3・N3A: 1277W、N4・N4A: 1374Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa~0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

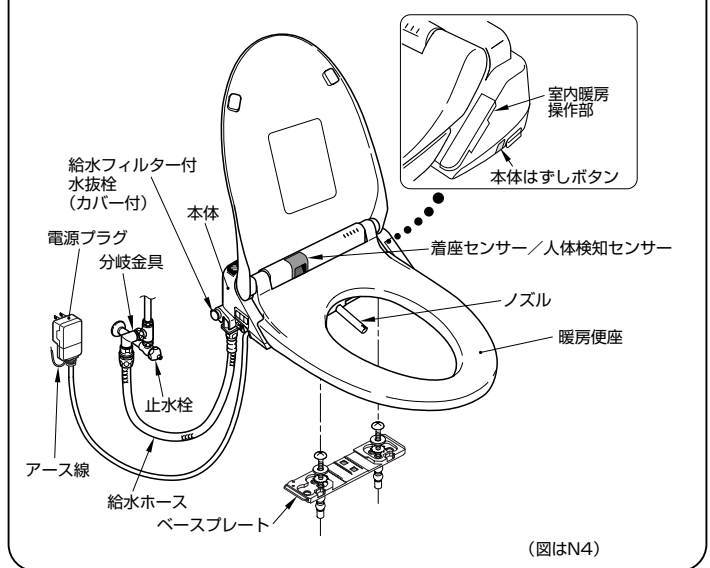
下記の場合はTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

- 給水ホースの長さが不足の場合
給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、③給水ホースの接続の③項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。
- 右給水の隅付タンクへ接続する場合
隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタCA58が必要となります。
- フラッシュバルブへ接続する場合
①分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタTH343が必要になります。
②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタTH484 (FVの給排水芯120mm用) またはTH484-1 (低圧FV用) が必要になります。
③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品のTH347-1 (節水型) またはTH502-1 (普通型) が必要になります。

部品の確認

<p>ウォシュレット本体</p> 	<p>リモコン部品</p> <p>アンカープラグ (3本)</p> <p>ねじ (3本)</p> <p>リモコン (図はN3A・N4A)</p> <p>リモコン用乾電池 (単3形×2個)</p> <p>リモコンハンガー</p>	<p>給水ホース</p> <p>パッキン付</p> 
<p>ベースプレート部品</p> <p>※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。</p> <p>分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。</p> <p>くぼみ(2カ所)のある面が下になります。</p> <p>ボルト(2個)</p> <p>座金(2個)</p> <p>歯付座金(2個)</p> <p>ゴムブッシュ(2個)</p>	<p>分岐金具</p> <p>パッキン(2個)</p> 	
<p>クッション</p> <p>取付説明書付 (N3・N3A・N4・N4A用)</p> <p>1個</p>	<p>取扱説明書 (保証書付) 使用した説明シート</p> <p>施工説明書 (本書)</p> <p>アンケート用紙</p> <p>通信販売カタログ</p> <p>取付説明書</p> <p>点字シール</p> <p>フック (1個)</p> <p>アソート用紙</p> <p>使いかた説明シート</p> <p>点字シール</p>	<p>便器洗浄ユニット</p> <p>(N1A・N2A・N3A・N4A用)</p> <p>箱の中に便器洗浄ユニットの部品が入っています。</p> 

各部の名称



取付方法

1 分岐金具の接続

一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

2 分岐金具を止水栓に取り付ける

3 給水管の止水栓側を切断する

POINT! 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

差込部分10~15mmを必ず確保する

10~15mm

パイプカッター

給水管

接続部にテーパリングを使用している場合

給水管

袋ナット

テーパリング

パッキンガイド

パッキン

差込代約10~15mm

分岐金具

止水栓

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管

袋ナット

スリップワッシャー

ゴムパッキン

差込代約10~15mm

分岐金具

止水栓

POINT! 部品の順番、向きを間違えないでください。

4 給水管を取り付ける

注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

ワンピース便器へ接続する場合

1 止水栓を閉める

2 ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす

3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける

2 便器への取り付け

一般の便器への取り付け

注意 すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

1 ベースプレートの取付方向を確認する

POINT! 前図と表示している面が表側です。前と表示している方を便器の先端側に向けます。

旧公団用取付穴

標準 (140)

後

前

2 仮締め

ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める

POINT! ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

ボルト

ゴムブッシュ

便器取付穴

差し込む

3 本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

POINT! 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

ベースプレート

カチッ

4 本体がまっすぐ取り付くことを確認し、いったん本体を取りはずす

POINT! 本体は少しボタンを押したまま手前に引くとはずせます。

本体は少しボタン

5 本締め

ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかり締めた後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押し込む

POINT! パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。

ボルト

ベースプレート

パッキン

便器

便器

※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のスキマによるもので、異常ではありません。)

旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす

ノックアウト

ストッパー

はずす

はずす

裏

2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える

ストッパー

旧公団用取付穴

差し込む

裏

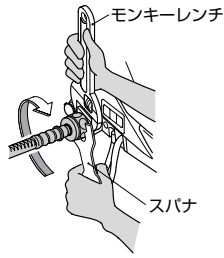
3 給水ホースの接続

- 1** ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける
 ※この状態のまま製品を床に置かないでください。
 給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

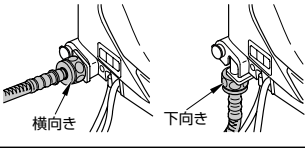
注意

給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。

(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れの原因になります。)

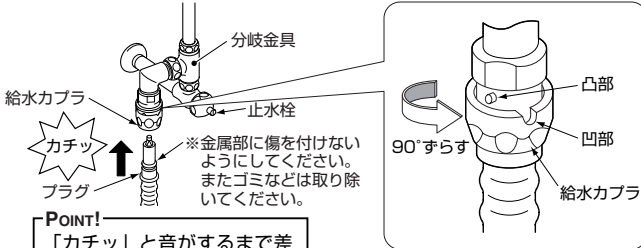


POINT!



ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。

- 2** 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む
 (給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



POINT!

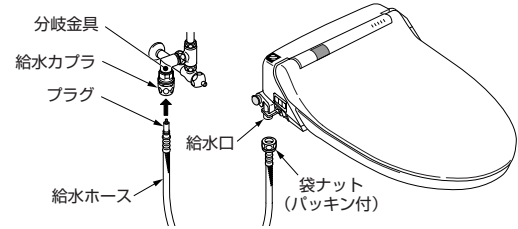
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- 3** 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)
 お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

給水ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZSt5
1480	D24009ZSt6
1980	D24009ZSt7

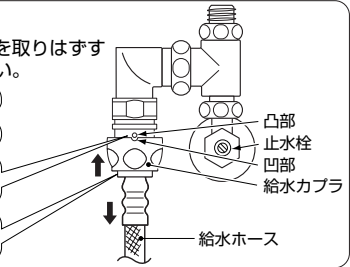
※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。



給水ホースのはずしかた

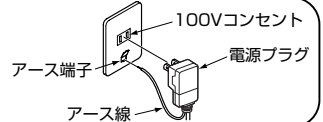
施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を閉める
- 2 ロータンクの水を流す
- 3 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- 4 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



4 アース線の接続

- アース線をアース端子に接続する
- ※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



5 電源プラグの確認

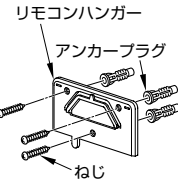
ご注意 (N3, N3A, N4, N4Aのみ)

電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる(または、閉まる)ことがあります。(最初に開いた位置を記憶します。) 障害物がない状態で電源プラグを一度ははずしてから差し込み、リモコンの [電源] を押してください。

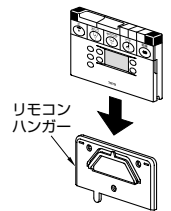
- 1 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む
 - ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- 2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に動作することを確認する
 - 「切(テスト)」ボタンを押す → 切表示が点灯または赤色になる
 - 「入(リセット)」ボタンを押す → 切表示が消灯または白色になる以上のように動作すれば正常です。
 - 切表示が点灯または赤色のときは通電されません。テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

- 3** リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

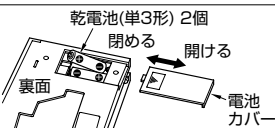


- 4** リモコンをハンガーにセットする



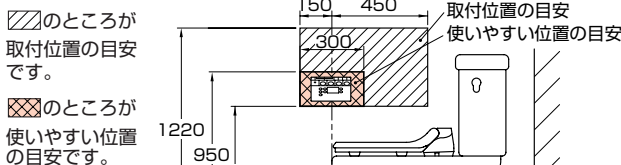
6 リモコンの取り付け

- 1** 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる
 ※⊕/⊖を間違えないでください。



- 2** 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

- 〈操作性の確認〉
 ●便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。
 〈作動の確認〉
 ●リモコンを押してノズルが伸縮することを確認してください。
 ●万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

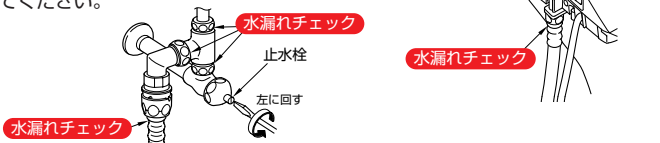


試運転

- 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。
- 試運転の前及び試運転完了時は必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。)
- お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
 - 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

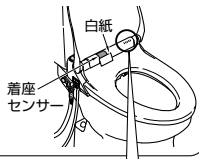


試 運 転

2 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)



2 脱臭機能を確認する

- 本体表示部の「脱臭」ランプが点灯していますか？
- 本体背面右側の吹出口より風が出ていますか？

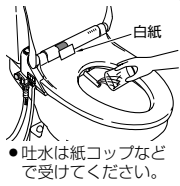


3 パワー脱臭機能を確認する

- パワー脱臭(ON)を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度 パワー脱臭(OFF)を押すと通常の音に戻りますか？

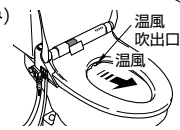
4 洗浄機能を確認する

- 「洗浄」(ON)を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 水勢調節(強)を押すと水勢が変化しますか？
- 「停止」を押すと止まりますか？



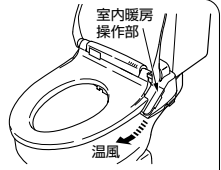
5 乾燥機能を確認する (N2・N2A・N3・N3A・N4・N4Aのみ)

- 「乾燥」を押すとノズルの右側から温風が出ますか？
- 「停止」を押すと止まりますか？



6 室内暖房機能を確認する (N4・N4Aのみ)

- 室内暖房操作部の室内暖房(ON)を押すと、本体の右側から温風が出ますか？
- もう一度室内暖房(ON)を押すと、約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温が20~33℃のときは10秒間だけ温風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。
- 設定温度より室温が高くなると、温風が自動で止まります。



7 暖房便座機能を確認する

- 便座があたまるまで約15分かかります。

8 着座センサーの白紙をはす

9 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動で止まりますか？

10 オート洗浄機能を確認する

- N1A・N2Aの場合：約5秒後に自動で便器洗浄しますか？
- N3A・N4Aの場合：便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか？

11 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する (N3・N3A・N4・N4Aのみ)

- 「開」を押すと便座・便ふたが開閉しますか？

12 リモコン便器洗浄機能を確認する (N1A・N2A・N3A・N4Aのみ)

- ※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。

- 「大」を押すと、便器の水が流れますか？

13 オート開閉機能を確認する (N3・N3A・N4・N4Aのみ)

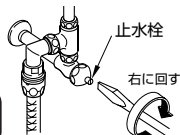
- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか？

給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める

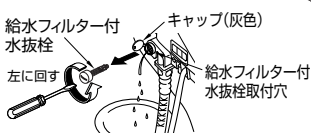
- ロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)



注意

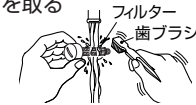
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)

2 キャップ(灰色)を開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはす

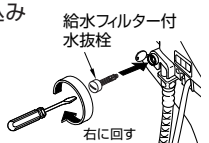


3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※本体の給水フィルター付水抜き栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締める



注意

給水フィルター付水抜き栓は確実に締める(確実に締めないとうもろれの原因になります。)

5 止水栓を開けて給水フィルター付水抜き栓部から水漏れがないことを確認する

6 キャップを閉める

凍結のおそれがあるときの処置

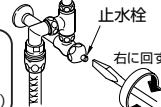
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出してしまうまでレバーを回したままにしてください。

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)



2 配管の水を抜く

- ①リモコンの「ノズルまろじ」を押す(配管内の残水を抜く準備です。)

- ②キャップ(灰色)を開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはす



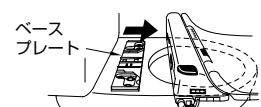
- ③給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く(約30ml)



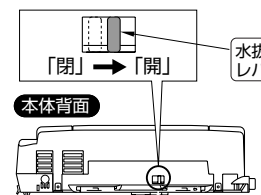
- ④もう一度リモコンの「ノズルまろじ」を押す(ノズルを元に戻します。)

3 本体を取りはずす

- 取りはずした本体は便器上面の前方に置いてください。



4 水抜きレバーを「開」位置にする



- 本体底面から水(約40ml)が便器内に出ます。

5 水抜きレバーを「閉」位置に戻す

- ⑥給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締めてキャップ(灰色)を閉める(左記④項参照)

7 本体を取り付ける

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。